

AVROMED:アゼルバイジャン最大の医薬品輸入企業

アゼルバイジャン最大の医薬品輸入企業である AVROMED のカムラン・アガシ CEO に同社の概要や今後の計画等についてお話を伺いましたので、以下にご紹介します。

1. 弊社は、アゼルバイジャン国内最大の医薬品輸入企業であり、100%民間資本の会社です。200社以上の外国医薬品企業の商品を輸入しており、国内に300の直営薬局を持ち、他600店の他社フランチャイズ店舗に医薬品を納入しています。その他、多くの病院や政府機関にも医薬品を納入しています。医薬品に加えて、例えば、歯科機材等の医療機材、医療研究開発機材の調達も行っています。調達対象としている医療機材は限定的で、放射線機材等の大規模なものは取り扱っていません。この1年間、アゼルバイジャン経済も新型コロナ・ウイルス感染拡大の影響が経済のあちこちに見られましたが、弊社は規模が大きいために幸運にも生き残ることができました。
2. 私は、約1年前に「会社を改革して欲しい」との聲がかかり、弊社CEOに就任したばかりです。現在、新経営戦略に基づいて、改革を進めようとしているところです。まず、ロジスティックスの改善に取り組んでいます。将来的には可能な限りロジスティックスを電子化したいと考えています。この分野では、日本から学べる点が多いと思います。
3. 弊社の新しい取組の一環として、「アロエ」という新たな薬局ブランドを立ち上げる計画もあります。アゼルバイジャンの薬局は、足を踏み入れたとたん、「病」や「痛み」を連想させるような暗いイメージの店舗が多いのですが、これは旧ソ連時代の名残です。「アロエ」は消費者フレンドリーな雰囲気ブランドに仕立て上げ、医薬品のみならず美容関連商品も取り揃えて、英国の「ブーツ(Boots)」のような明るいイメージにしたいと考えています。
4. 将来的には医薬品の国内製造にも挑戦したく、そのためには海外の医薬品製造企業との連携が必要であると考えています。ちなみに、現在アゼルバイジャンでは医薬品が全く製造されていません。人口1,000万人の国内市場は小さいため、医薬品を国内製造する場合は、必然的に海外市場も視野に入れるべきであると考えていますので、アゼルバイジャンを生産・流通のハブにしたいです。ブランド製品、ジェネリック製品の双方を手がけたいと思います。医薬品の国内製造には相当の準

備が必要なため、すぐに着手することは困難ですので、将来的にアゼルバイジャン国内の医薬品製造で連携できるような、長期的なパートナーシップを検討できる海外医薬品企業を探しています。

5. 日本との関係では、既に武田薬品等の医薬品を輸入しています。今後、日本企業との連携を発展、拡大させていきたいと考えていて、最低でも新商品の取り扱いの開始、可能であれば医薬品の国内製造における連携も視野に入れた長期的パートナーシップを結べる企業の発掘を目指したいです。日本企業製の血管撮影装置の輸入にも大きな関心があります。

(AVROMED ホームページ)

Avromed.az

(AVROMED 東アジア輸入担当者コンタクト先)

Mr. Orkhan Guliyev: orxan.guliev@avromed.az

(以上)